

第2回 多摩市道6-10号歩線 (鶴牧東公園沿い遊歩道)意見交換会



令和5年5月27日(土)
～からきだ菖蒲館ホール～

次第

1. 多摩市における街路樹の現状
2. 第1回意見交換会の振り返り
3. 街路樹環境更新素案について
4. ワークショップの進め方について

⑧ 多摩市役所
都市整備部道路交通課

1. 多摩市における街路樹の現状

2. 第1回意見交換会の振り返り

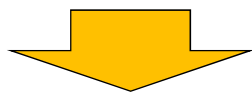
3. 街路樹環境更新素案について

4. ワークショップの進め方について

1. 多摩市における街路樹の現状

街路樹の現状

- 約15,000本の高木を管理
- 植栽されてから約50年経過

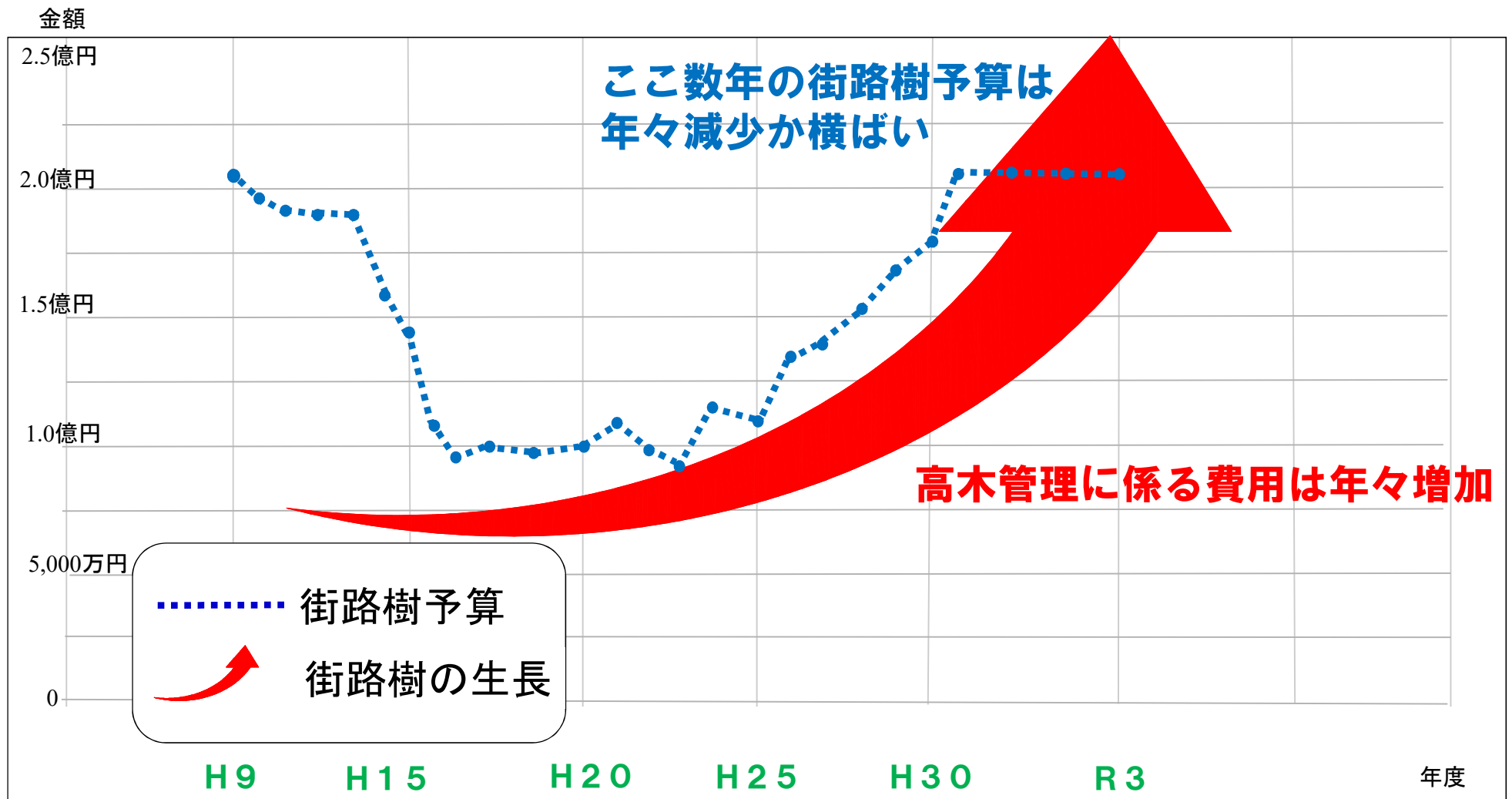


街路樹が起因する様々な問題が発生している

〔例：大径木化、老木化、根上がり、越境、倒木、枝折れなど〕

1. 多摩市における街路樹の現状

街路樹予算の推移と街路樹の生長イメージ



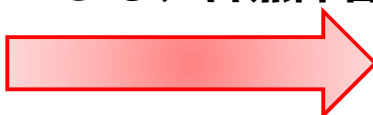
1. 多摩市における街路樹の現状

多摩市街路樹よくなるプラン改定版について

多摩市街路樹よくなるプラン（街路編）平成20年9月策定

植栽から30年程度経過したことによる大径木化

植栽が過密なことによる、日照障害



信号支障、見通し支障の問題が発生

街路部分における街路樹管理指標を策定



- 多摩市街路樹よくなるプラン（街路編）の策定から更に10年が経過し、様々な問題が新たに浮上
- また、遊歩道部分については未対応だったため、新たな管理指標として、「多摩市街路樹よくなるプラン改定版」を平成31年3月に策定



1. 多摩市における街路樹の現状

多摩市街路樹よくなるプラン改定版の基本方針

- 安心・快適な歩行空間として整備を図る
- 持続可能なみどりを育てる
- みんなが参加・協力し、みどりを育てる



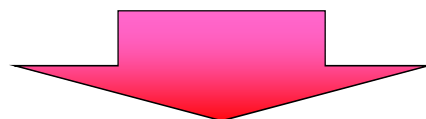
方針を実現
させるため
の対応策

対応策 1	交通支障や防犯上の支障への対応
対応策 2	緑の量の適正化
	並木の維持が困難になっている路線の更新
対応策 3	緑の質の改善
	更新

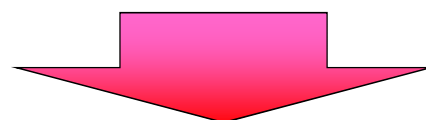
1. 多摩市における街路樹の現状

改善モデル路線について

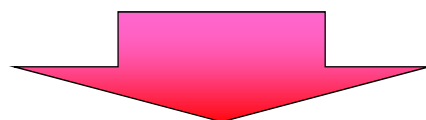
①街路樹の状態を踏まえた評価・分類



②汎用性の高い改善モデル路線の選定



③改善モデル路線の一部区間での試験施工



④路線全体や他路線へ順次展開

1. 多摩市における街路樹の現状

路線名	街路樹の状態	主要樹種
多摩市道5-1号幹線 貝取大通り	枯れ木が多数発生 街路樹景観の崩れ	ハクウンボク
多摩市道5-109号線 落合南公園通り	枯木が多数発生 街路樹景観の崩れ	エンジュ
多摩市道2-50号線 (和田地区)	管理困難な樹高 樹形の崩れ	ケヤキ
多摩市道1-2号幹線 宮下通り、聖蹟Uロード	大径木化 樹冠の重複	サクラ
多摩市道5-74号線 (落合地区)	大径木化 樹冠の重複	クスノキ
多摩市道4-49号線 永山けやき坂	大径木化 根上がり発生	ケヤキ
多摩市道5-39号歩線 (落合地区)	植栽過密 歩行空間の狭小化	シラカシ・エンジュ
多摩市道6-5号幹線 唐木田通り	隣接地への越境	ハナミズキ
多摩市道6-10号歩線 (鶴牧地区)	歩行空間の狭小化	シラカシ・エンジュ

対策済

1. 多摩市における街路樹の現状

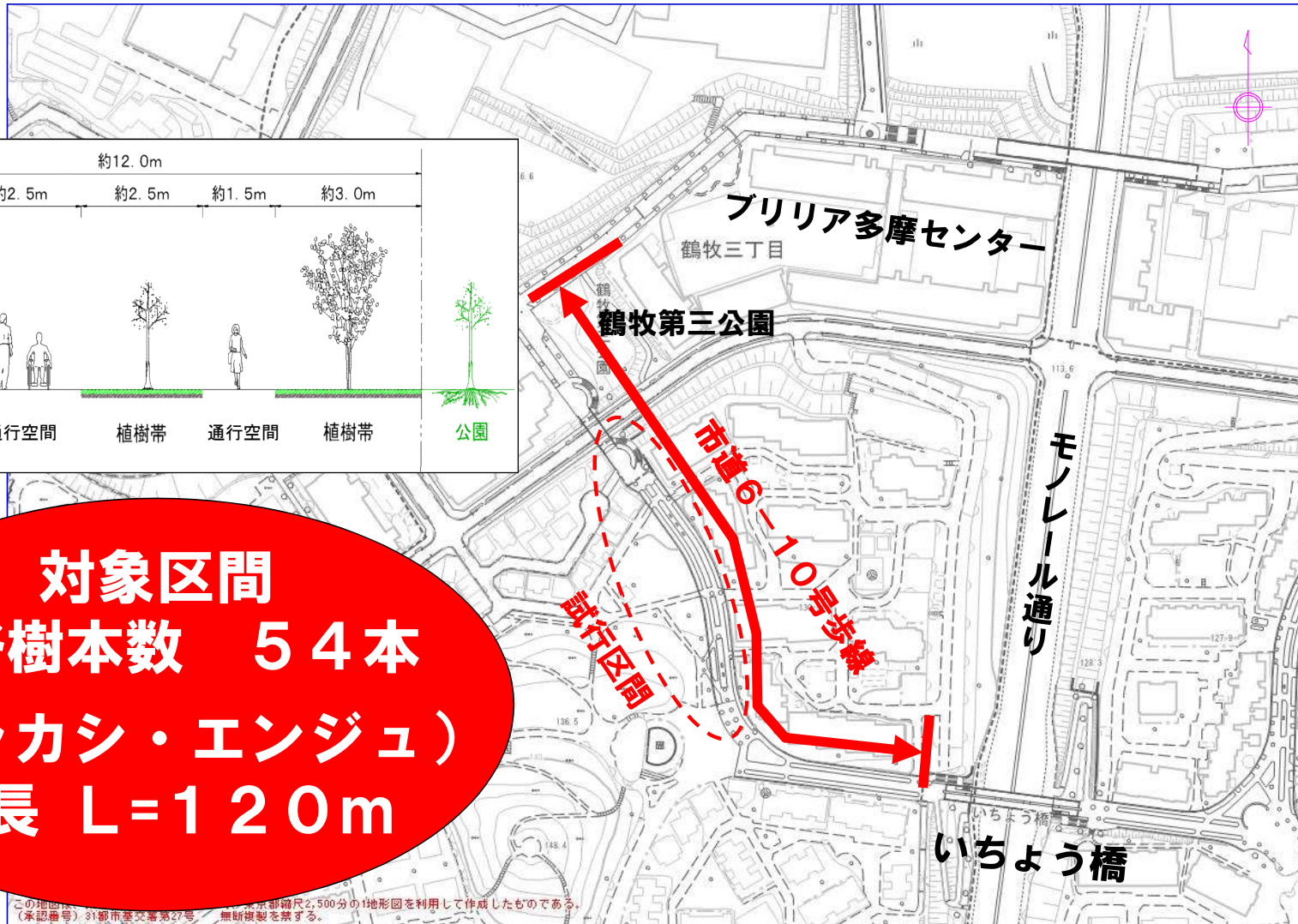
2. 第1回意見交換会の振り返り

3. 街路樹環境更新素案について

4. ワークショップの進め方について

2. 第1回意見交換会の振り返り

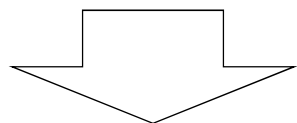
ワークショップ対象区間（試行区間）



2. 第1回意見交換会の振り返り

主な課題①

歩行空間を狭めている



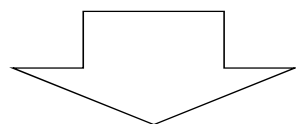
- 通行への影響
- 自転車との衝突



2. 第1回意見交換会の振り返り

主な課題②

樹木の重複 隣接地への越境



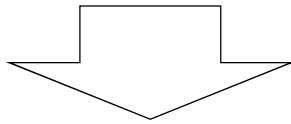
- 暗がりの発生
- 見通しの悪化
- 隣接地への影響



2. 第1回意見交換会の振り返り

主な課題③

樹勢の衰退



- 枯枝の発生・落下
- 景観の阻害
- 倒木の危険性



2. 第1回意見交換会の振り返り

第1回

多摩市道6-10号歩線 (鶴牧東公園沿い遊歩道)

意見交換会の実施結果

1. 開催概要

将来を見据えた持続可能なみどりを育てるため、街路樹環境をどのように改善していくか皆さんと合意形成を図ることを目的として開催しました。

- ・日時 令和5年2月18日(土)13時00分~16時00分
- ・会場 多摩市道6-10号歩線、からきだ菖蒲館
- ・参加者数 8名(ワークショップ形式)

2. 意見交換会の流れ

青空ワークショップ(現地にて)

約30分

現状と課題等について確認しました

- ・遊歩道(空間、舗装、街路灯など)
- ・街路樹(生育状況、植栽位置など)
- ・周辺の状況(公園、住宅、橋など)

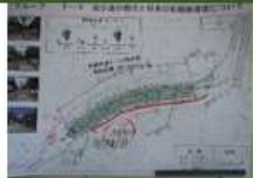


ワークショップ(からきだ菖蒲館にて)

約110分

3つのテーマについて、グループに分かれて意見交換しました

- ・遊歩道の使い方を考えよう
- ・街路樹の現状と将来を考えよう
- ・その他気付いたことを考えよう



3. 各グループの主な内容

	1グループ	2グループ
ワークショップの状況		
遊歩道の使いわれ方について	<ul style="list-style-type: none"> ・今の使い方を大切にしたい。 ・子供がゆっくり散歩できるようにしたい。 ・自転車と歩行者の交錯が気になる。 ・通行空間は現状の2列が良い。 ・中央のエンジュをなくし、すれ違いを考慮してほしい。 ・アスファルト舗装は現状のままで良い。 ・両サイドに背もたれ付きのベンチが欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通し良く安全に整備してほしい。 ・自転車と歩行者を分けて欲しい。 ・広く使えるようにしてほしい。 ・温暖化に配慮し白いアスファルト舗装を ・遊歩道の路面を安全にしたい。 ・ベンチの位置、ベンチの向きを変えて欲しい
街路樹の現状と将来について	<ul style="list-style-type: none"> ・3列の並木はとても大切な遺産である。 ・エンジュサビ病の枯れ枝が危険である ・シラカシの間隔が狭いと感じる。 ・団地の出入りに支障となるシラカシがある。 ・木の大きさ、本数は今までのままで良い。 ・温暖化は待たなし緑陰が求められる。 ・街路樹は防災目的から生まれたものである。 ・樹種の選定は、専門家に相談してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジュサビ病の木は除去してほしい。 ・中央のエンジュは伐採するか強剪定すべき。 ・街路樹は間引き剪定を行う(特に住宅側) ・路線に適した樹木を再検討してほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・先人たちが描いた街を大切にしたい。 ・現状を大きく変えない方が良い。 ・アダプト制度で宿根草を中心に植えて子どもにも親しめるようにしてほしい。 ・歩行者と自転車のルールを決めるべき。 ・遊歩道に木があるので、公園内の樹木を無くし広場空間にしては。 ・街路灯の照明を暖色系に戻してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道と公園は多摩市の宝だと思う。 ・車止めは通行支障になるため設置しない。 ・花壇は一年草ではなく多年草を育てては ・エンジュ伐採後は、花壇を整備してほしい。 ・アダプト制度で花を植えやすくしてほしい。 ・公園の芝地をもっと有効活用しては。 ・公園内にバイパス通路を設けては。 ・橋とかの造作物の壁の汚れが目立つ。

2. 第1回意見交換会の振り返り

各グループの主な内容

	1グループ	2グループ
遊歩道の 使われ方 について	<ul style="list-style-type: none"> ・今の使い方を大切にしたい。 ・子供がゆっくり散歩できるようにしたい。 ・自転車と歩行者の交錯が気になる。 ・通行空間は現状の2列がよい。 ・中央のエンジュをなくし、すれ違いを考慮して欲しい。 ・アスファルト舗装は現状のままで良い。 ・両サイドに背もたれ付きのベンチが欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通し良く安全に整備して欲しい。 ・自転車と歩行者を分けて欲しい。 ・広く使えるようにしたい。 ・温暖化に配慮し白いアスファルト舗装を ・遊歩道の路面を安全にして欲しい。 ・ベンチの位置、ベンチの向きを変えて欲しい
街路樹の 現状と将来 について	<ul style="list-style-type: none"> ・3列の並木はとても大切な遺産である。 ・エンジュサビ病の枯れ枝が危険である ・シラカシの間隔が狭いと感じる。 ・団地の出入り口に支障となるシラカシがある。 ・木の大きさ、本数は今までのままで良い。 ・街路樹は防災目的から生まれたものである。 ・温暖化は待ったなし緑陰が求められる。 ・樹種の選定は、専門家に相談して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジュサビ病の木は除去して欲しい。 ・中央のエンジュは伐採するか強剪定すべき。 ・街路樹は間引き剪定を行う(特に住宅側) ・路線に適した樹木を再検討して欲しい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・先人たちが描いた街を大切にしたい。 ・現状を大きく変えない方が良い。 ・アダプト制度で宿根草を中心に植えて子どもにも親しめるようにしたい。 ・歩行者と自転車のルールを決めるべき。 ・遊歩道に木があるので、公園内の樹木を無くし広場空間にしては。 ・街路灯の照明を暖色系に戻して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道と公園は多摩市の宝だと思う。 ・車止めは通行支障になるため設置しない。 ・花壇は一年草ではなく多年草を育てては ・エンジュ伐採後は、花壇を整備して欲しい。 ・アダプト制度で花を植えやすくして欲しい。 ・公園の芝地をもっと有効活用しては。 ・公園内にバイパス通路を設けては。 ・橋とかの造作物の壁の汚れが目立つ。

通行空間に関すること

ベンチに関すること

2. 第1回意見交換会の振り返り

各グループの主な内容

	1グループ	2グループ
遊歩道の 使われ方について	<ul style="list-style-type: none"> ・今の使い方を大切にして欲しい。 ・子供がゆっくり散歩できるようにして欲しい。 ・自転車と歩行者の交錯が気になる。 ・通行空間は現状の2列がよい。 ・中央のエンジュをなくし、すれ違いを考慮して欲しい。 ・アスファルト舗装は現状のままで良い。 ・両サイドに背もたれ付きのベンチが欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通し良く安全に整備して欲しい。 ・自転車と歩行者を分けて欲しい。 ・広く使えるようにして欲しい。 ・温暖化に配慮し白いアスファルト舗装を ・遊歩道の路面を安全にして欲しい。 ・ベンチの位置、ベンチの向きを変えて欲しい
街路樹の 現状と将来 について	<ul style="list-style-type: none"> ・3列の並木はとても大切な遺産である。 ・エンジュサビ病の枯れ枝が危険である ・シラカシの間隔が狭いと感じる。 ・団地の出入り口に支障となるシラカシがある。 ・木の大きさ、本数は今までのままで良い。 ・街路樹は防災目的から生まれたものである。 ・温暖化は待たなし緑陰が求められる。 ・樹種の選定は、専門家に相談して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジュサビ病の木は除去して欲しい。 ・中央のエンジュは伐採するか強剪定すべき。 ・街路樹は間引き剪定を行う(特に住宅側) ・路線に適した樹木を再検討して欲しい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・先人たちが描いた街を大切にして欲しい。 ・現状を大きく変えない方が良い。 ・アダプト制度で宿根草を中心に植えて子どもにも親しめるようにして欲しい。 ・歩行者と自転車のルールを決めるべき。 ・遊歩道に木があるので、公園内の樹木を無くし広場空間にしては。 ・街路灯の照明を暖色系に戻して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道と公園は多摩市の宝だと思う。 ・車止めは通行支障になるため設置しない。 ・花壇は一年草ではなく多年草を育てては ・エンジュ伐採後は、花壇を整備して欲しい。 ・アダプト制度で花を植えやすくして欲しい。 ・公園の芝地をもっと有効活用しては。 ・公園内にバイパス通路を設けては。 ・橋とかの造作物の壁の汚れが目立つ。

エンジュに関すること

シラカシに関すること

植え替えに関すること

2. 第1回意見交換会の振り返り

各グループの主な内容

	1グループ	2グループ
遊歩道の 使われ方について	<ul style="list-style-type: none"> ・今の使い方を大切にしたい。 ・子供がゆっくり散歩できるようにしたい。 ・自転車と歩行者の交錯が気になる。 ・通行空間は現状の2列がよい。 ・中央のエンジュをなくし、すれ違いを考慮してほしい。 ・アスファルト舗装は現状のままで良い。 ・両サイドに背もたれ付きのベンチが欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通し良く安全に整備してほしい。 ・自転車と歩行者を分けて欲しい。 ・広く使えるようにしたい。 ・温暖化に配慮し白いアスファルト舗装を ・遊歩道の路面を安全にしたい。 ・ベンチの位置、ベンチの向きを変えて欲しい
街路樹の 現状と将来について	<ul style="list-style-type: none"> ・3列の並木はとても大切な遺産である。 ・エンジュサビ病の枯れ枝が危険である ・シラカシの間隔が狭いと感じる。 ・団地の出入り口に支障となるシラカシがある。 ・木の大きさ、本数は今までのままで良い。 ・街路樹は防災目的から生まれたものである。 ・温暖化は待ったなし緑陰が求められる。 ・樹種の選定は、専門家に相談してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジュサビ病の木は除去してほしい。 ・中央のエンジュは伐採するか強剪定すべき。 ・街路樹は間引き剪定を行う(特に住宅側) ・路線に適した樹木を再検討してほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・先人たちが描いた街を大切にしたい。 ・現状を大きく変えない方がよい。 ・アダプト制度で宿根草を中心に植えて子どもにも親しめるようにしたい。 ・歩行者と自転車のルールを決めるべき。 ・遊歩道に木があるので、公園内の樹木を無くし広場空間にしては。 ・街路灯の照明を暖色系に戻してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道と公園は多摩市の宝だと思う。 ・車止めは通行支障になるため設置しない。 ・花壇は一年草ではなく多年草を育てては ・エンジュ伐採後は、花壇を整備してほしい。 ・アダプト制度で花を植えやすくしてほしい。 ・公園の芝地をもっと有効活用しては。 ・公園内にバイパス通路を設けては。 ・橋とかの造作物の壁の汚れが目立つ。

思想継承に関すること

アダプトに関すること

公園に関すること

1. 多摩市における街路樹の現状

2. 第1回意見交換会の振り返り

3. 街路樹環境更新素案について

4. ワークショップの進め方について

3. 街路樹環境更新素案について

3つの基本方針

① 安心・快適な歩行空間として整備を図る

⇒ 安心・快適なみちづくりを進めていく

② 持続可能なみどりを育てる

⇒ 今後を見据えた持続可能なみどりを形成していく

③ みんなが参加・協力し、みどりを育てる

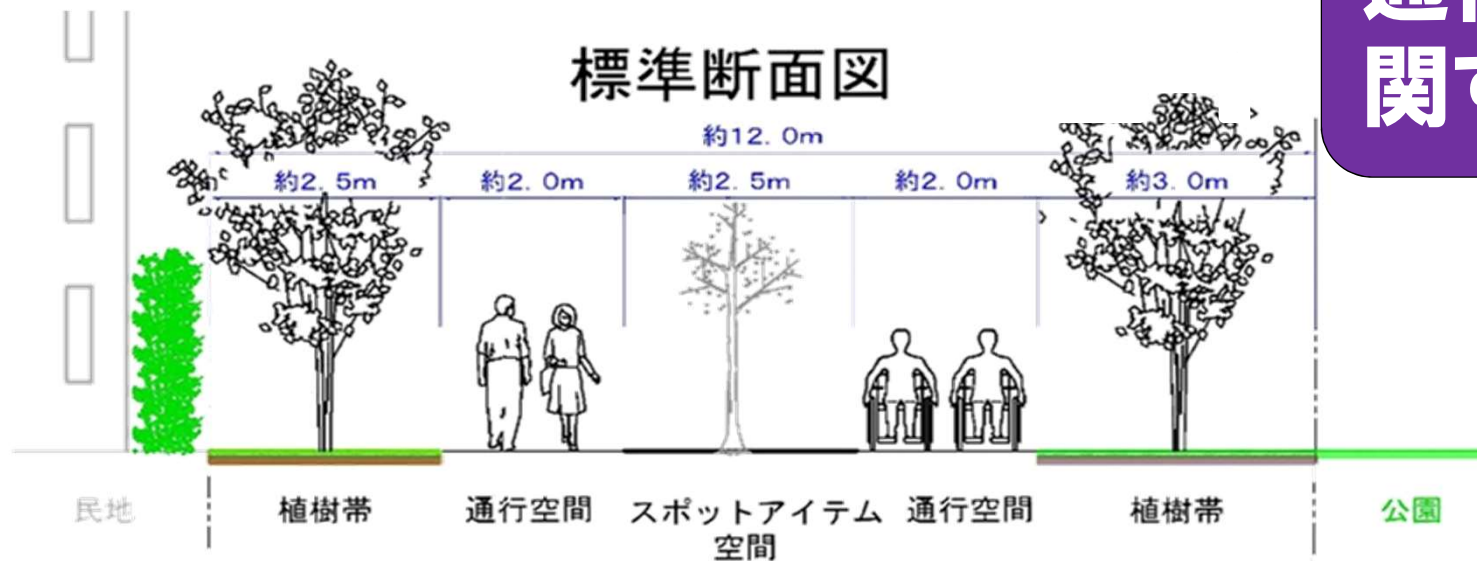
⇒ 多様な主体との連携による特色ある快適なみちを形成していく

3. 街路樹環境更新素案について

方針1 安心・快適な歩行空間として整備を図る

◎歩行者、自転車の安全の確保

通行空間に関すること



基本設計では、通行のための空間という考えは比較的薄く、舗装は最小通行幅にとどめている。

⇒ 素案ではすれ違いに必要な幅員2mを確保

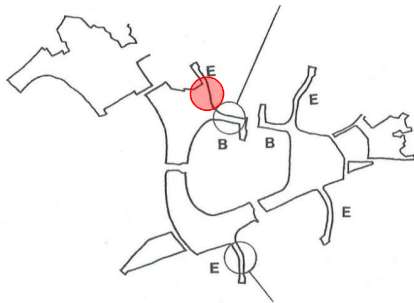
3. 街路樹環境更新素案について

方針1 安心・快適な歩行空間として整備を図る

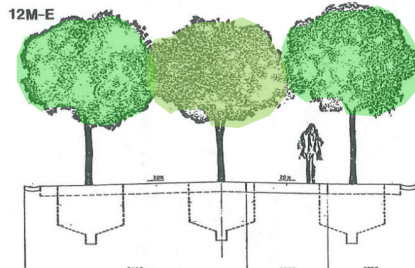
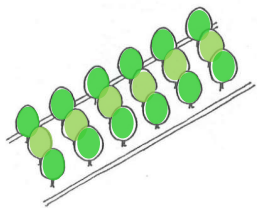
◎ニュータウンで創られた空間の継承

思想継承に
関すること

基幹空間のベデには2つのタイプがある。一つは買入圃を形成するベデで「チューブ状」の空間（図中12M-E）であり、他は住区骨格を形成する非限定的な空間（12M-E）である。



住区骨格のベデ
外一外交通が少く、内一外交通も宅地内フットパスに分散される区間で、通行のための空間という用は比較的薄く、したがって、初元体としての道の多用途性が顕在化する非限定的空間。住宅地を分節するウッドランドとしてグラッド状の植樹におおわれる。植栽は最小通行市にとどめる。



買入圃のベデ
基幹空間のベデのP303、P309の東西方向の他は弱い買入圃として並木路を形成する。ウィスタリオンを重視した直線的な空間で、東側は秩久保公園のゲート南広場の風景塔、西側は稲敷東公園の徒歩出入口を目途とする。



参考文献 ※一部追記着色加工しています
多摩ニュータウン-10・11住区
1978報告書
—公園・歩行者専用道路・住宅地基本設計—
昭和53年 5月
日本住宅公団南多摩開発局
㈱日本都市総合研究所



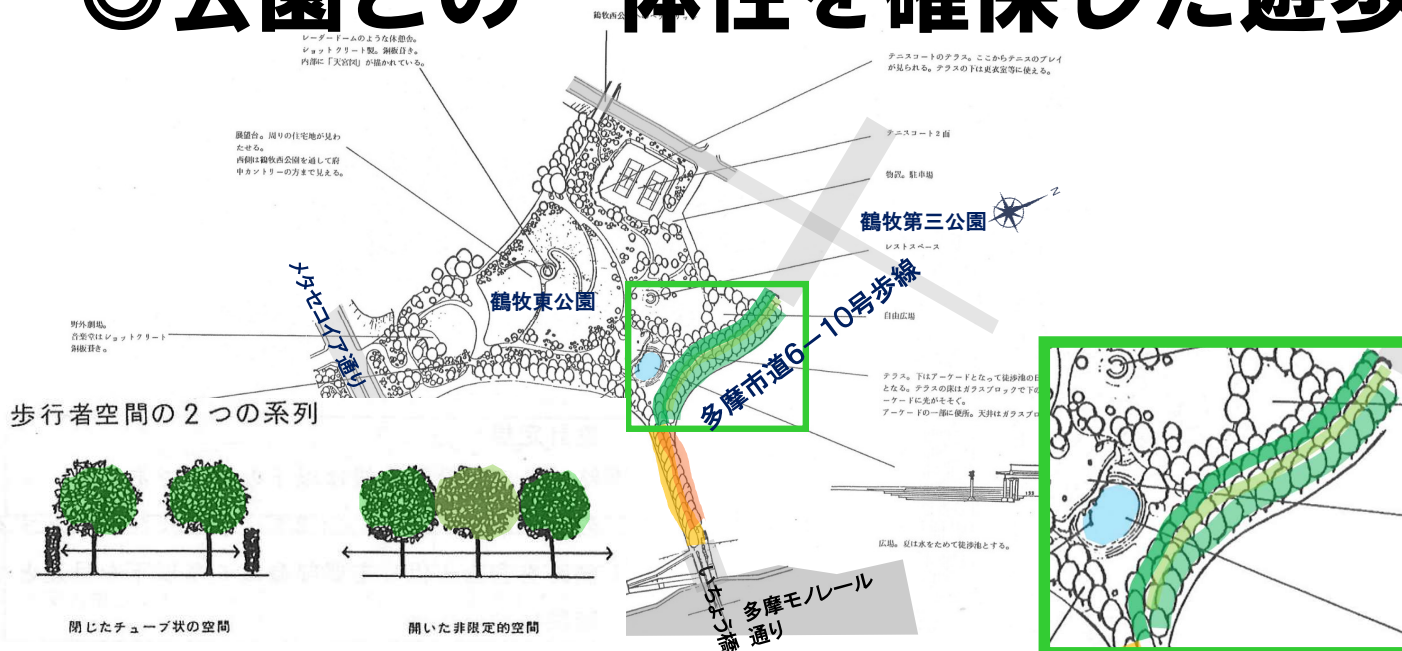
基本設計では住宅地を分節するウッドランド（樹木の連続）として、デザインされている。

⇒ 素案では中央植樹帯をスポット的な空間へ

3. 街路樹環境更新素案について

方針1 安心・快適な歩行空間として整備を図る

◎公園との一体性を確保した遊歩道



基本設計では、遊歩道は公園側のみが開かれた空間として公園との一体性が考えられている。

⇒ 素案ではベンチを設置して憩える空間へ

3. 街路樹環境更新素案について

スポットアイテム一覧表(参考)

種類	ベンチ系				植栽系			ベンチ+植栽系	
	ベンチ	スツールベンチ	サポーターベンチ	サークルベンチ	ツリーサークル	花壇	プランター	ベンチ一体型プランター	
外観イメージ	 	 	 	 	 	 	 	 	
特性	用途	腰掛けて休憩できる 荷物を置ける	腰掛けて休憩できる	寄りかかり休憩できる	腰掛けて休憩できる 荷物を置ける	樹木を植える 樹木根の踏み込み防止	樹木や花を植える	樹木や花を植える	樹木や花を植える 腰掛けて休憩できる 荷物を置ける
	主な材質	木材、擬木等	木材、石材等	アルミ ステンレス材等	木材、擬木等	鋳鉄材等	石材等	プラスチック 石材等	木材等
	耐久性	木材の場合、経年による劣化が懸念される	木材の場合、経年による劣化が懸念される	経年、環境による影響は少ない	木材の場合、経年による劣化が懸念される	経年、環境による影響は少ない	経年、環境による影響は少ない	経年、環境による影響は少ない	木材の場合、経年による劣化が懸念される
植栽可否	—	—	△	△	○	○	○	○	
アダプト活動	—	—	△	△	△	○	○	○	
維持管理	○	○	○	○	△	△	△	△	
備考	デザイン、材質など様々な種類がある	デザイン、材質など様々な種類がある 写真1枚目 株式会社コトブキ提供	デザイン、材質など様々な種類がある 写真1枚目 株式会社コトブキ提供	デザイン、材質など様々な種類がある	年数の経過とともに根上り対応が必要	様々な形状がある 水やりが必要	上の写真は車椅子でも作業しやすいバリアフリーデザイン 水やりが必要	移動可能なタイプもある 水やりが必要	

3. 街路樹環境更新素案について

方針2 持続可能なみどりを育てる

◎シラカシは**間伐**する（遊歩道両側）

→団地、公園への動線を考慮

◎エンジュは**伐採**する（遊歩道中央）

→樹勢が衰え倒木リスクがある

シラカシに
関すること

エンジュに
関すること



エンジュ（遊歩道中央）は、既に伐採している箇所も多く、並木として維持が困難なため、新たに健全な街路樹空間をつくる。

⇒素案では、樹木や花壇などで彩られる街路樹空間へ

植え替えに
関すること

3. 街路樹環境更新素案について

スポット空間における植栽候補一覧表(参考)

種 類	シデコブシ(モクレン科)	ハナミズキ(ミズキ科)	ゲッケイジュ(クスノキ科)	ライラック(モクセイ科)	ムクゲ(アオイ科)	
外観イメージ						
特 徴	種 別	落葉高木	落葉高木	常緑高木	落葉高木	落葉中木
	樹 高	5~10m程度	5~10m程度	5~10m程度	3~6m程度	2~4m程度
	開花時期	3~4月頃	4~5月頃	4~5月頃	4~5月頃	8~9月頃
	色	白、淡紅色	白、淡紅色	黄白色	紫、白色	白、淡紅色
病害虫	カミキリムシ等	うどんこ病等	カイガラムシ等	カミキリムシ等	アブラムシ等	
発生頻度	少	多(品種により少)	少	少	普通	
実 績 等	植栽実績	多摩市の公園樹木	多摩市の街路樹	多摩市の街路樹	多摩市内の樹木	多摩市の街路樹
	道路工事設計基準(東京都)	街路樹主要45種のひとつ	街路樹主要45種のひとつ	街路樹主要45種のひとつ	—	—
	専門家提案(参考)※	○	—	—	○	○
備 考	(写真提供) 田原市役所教育部文化財課 撮影:m_cute_j23氏	多摩市道6-10号歩線から多摩郵便局(多摩センター)方面へ向かう遊歩道に街路樹として植えられている。		(写真提供) 北海道庁建設部まちづくり局都市環境課		

※専門家提案とは、植栽候補について樹木医に相談し、本路線の特性(既存樹木とのバランス)、土壌性質(透水性不良、土壌固結、肥料塩類不足など)、病害虫への強さ、紅葉が美しい樹種などを踏まえてご提案いただいたものになります。

3. 街路樹環境更新素案について

方針3 みんなが参加・協力し、みどりを育てる

◎**道路アダプト制度**の活用
市民等との連携・協働により
スポット的な植栽空間として整備

アダプトに
関すること



現在、70団体が道路アダプト制度を活用して花壇活動などが行われており、美しい道路空間に彩られている

3. 街路樹環境更新素案について

方針3 みんなが参加・協力し、みどりを育てる

～道路アダプト制度とは～

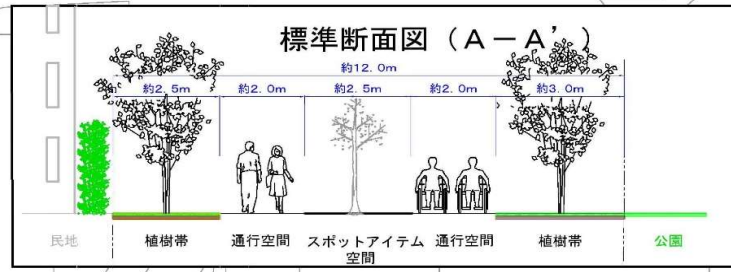
- ・ ボランティアとして道路の区域で**緑化**や**清掃美化活動**をしていただく**市民参加**の制度（5人以上のメンバーが必要）
- ・ 市ではボランティア保険の加入や花苗配布（春・秋）、アダプトサイン看板の設置などで支援しています。



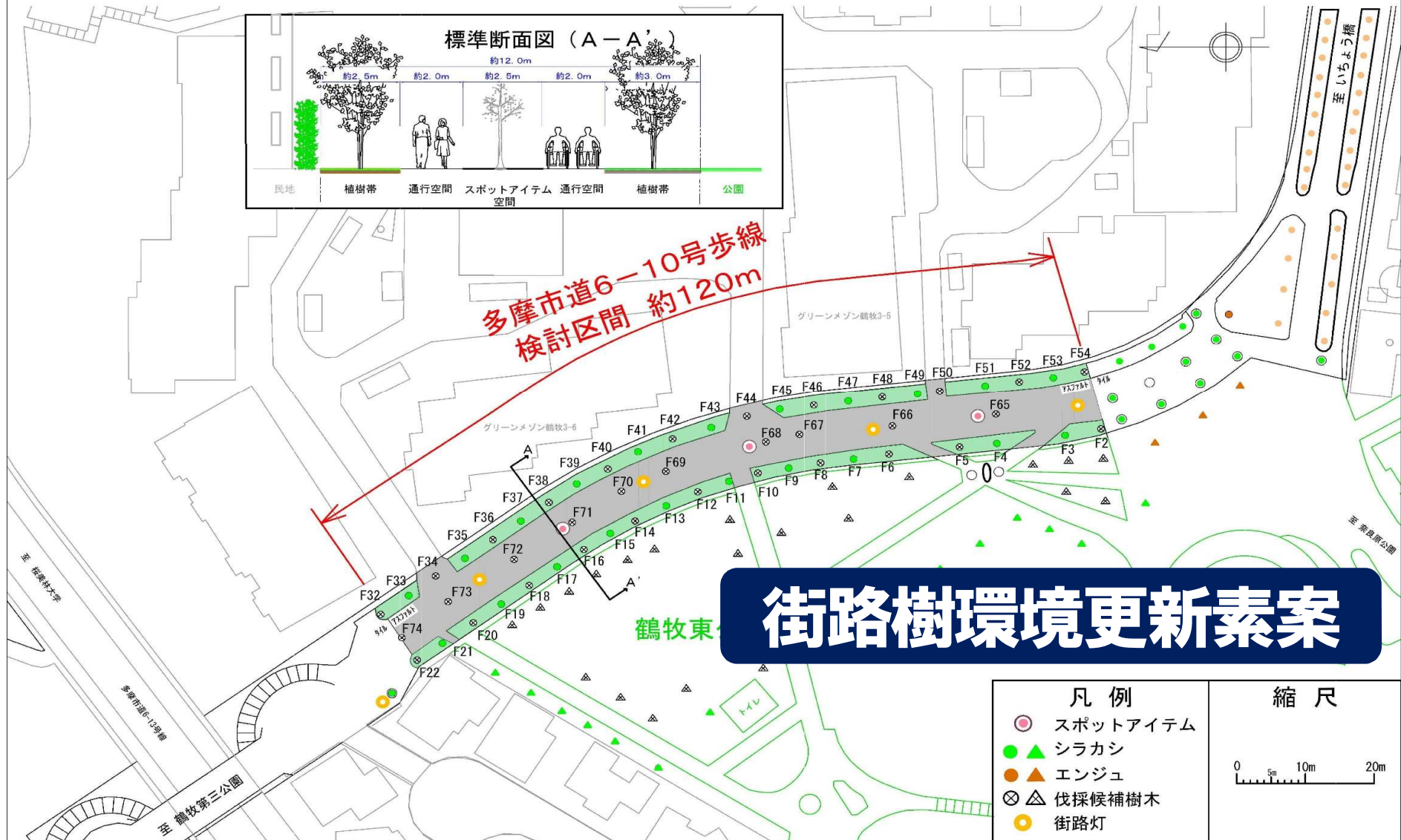
5月の第4土曜日は「アダプトの日」になります。
皆さんもアダプト活動に参加してみませんか？

3. 街路樹環境更新素案について

グループ テーマ 遊歩道の現状と将来の街路樹環境について

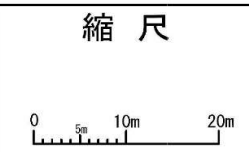


多摩市道6-10号歩線
検討区間 約120m



街路樹環境更新素案

- 凡例
- スポットアイテム
 - ▲ シラカシ
 - ▲ エンジュ
 - ⊗ △ 伐採候補樹木
 - 街路灯



3. 街路樹環境更新素案について

街路樹環境更新素案イメージ図



3. 街路樹環境更新素案について

今後の進め方（予定）

令和5年 5月

第2回意見交換会
街路樹環境更新素案の提示

パブリックコメント等
市民から広く意見聴取

令和5年10月

第3回意見交換会
街路樹環境更新最終案の提示

令和5年11月以降 試験施工



1. 多摩市における街路樹の現状

2. 第1回意見交換会の振り返り

3. 街路樹環境更新素案について

4. ワークショップの進め方について

4. ワークショップの進め方について

街路樹への多様な意見

一方では・・・

落葉で道が汚い



季節感を感じる

見通しが悪い



目隠しになる

虫や鳥が迷惑



自然環境は大切

日照が遮られる



木陰ができて涼しい

など・・・



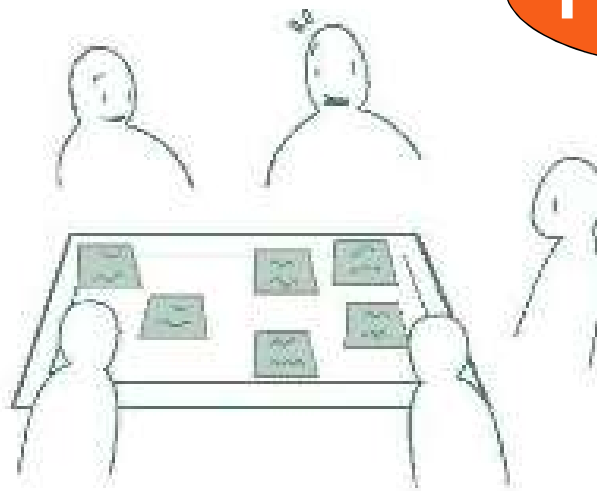
市民の意見は多様化しており、街路樹環境の更新には認識共有・理解が必要である

4. ワークショップの進め方について

1. まずは自己紹介しよう

グループ内の皆さんで、簡単に自己紹介
しましょう。

1人15秒



4. ワークショップの進め方について

2. 魅力や問題点、こんな使い方をしたいという想いを考えてみよう。

考えるポイント!!

将来の遊歩道をイメージしながら

- 今後も活かしたい魅力、改善すべき問題点
- 自身の今後の使い方や関わり方から
- 自分だったらこうやって使いたい
- 通りたくなる居心地のよい空間の姿

等を考えてみて下さい。

自分が通りたくなる道路になるには
どうしたらいいかなあ

安全な道路にしたい!

いつも活気あるといいな

もっと自由に使いたいな

こんなことができるといいな

子どももっと遊べるといいな

4. ワークショップの進め方について

3. 意見やアイデアを付箋に書いてみよう。



色 記入する項目

青色 安心・快適なみちづくりについて

緑色 持続可能なみどりの形成について

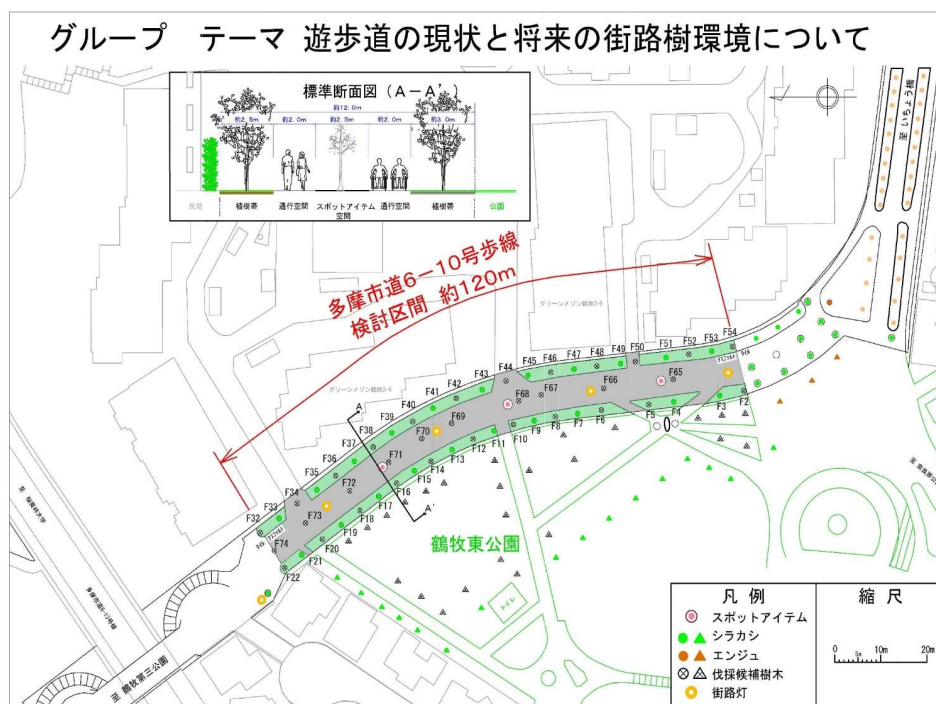
黄色 多様な主体との連携について

付箋 1枚につき 1項目メモしましょう

4. ワークショップの進め方について

4. 付箋を3つの分類の枠に貼っていきこう

- ・ここを今後も活かしていきたい。大事にしたい
- ・ここは改善したほうがよい。
- ・ここでこんな使い方をしたい。
- ・ここにこんな居心地のよい空間をつくりたい。 など



安心・快適なみちづくりについて考えよう(青色の付箋)



持続可能なみどりの形成について考えよう(緑色の付箋)



多様な主体との連携について考えよう(黄色の付箋)



4. ワークショップの進め方について

5. グループ内で話し合おう

自分で感じた魅力や課題、使い方のアイデアなどについて、グループ内で発表しよう。

それ、実際に見てみたいね。



こんな新しい使い方してみたい！

4. ワークショップの進め方について

意見交換する主な項目

意見交換①

安心・快適なみちづくりについて

- 幅員構成について
- スポットアイテムについて

意見交換②

持続可能なみどりの形成について

- 樹木の伐採（間引き）箇所について
- スポット空間における植栽候補について

意見交換③

多様な主体との連携について

- 道路アダプト制度について

ご清聴ありがとうございました。



くらし・たのしみ・たまし

健幸都市



多摩市

多摩市役所 都市整備部 道路交通課

〒206-8666 多摩市関戸6-12-1

☎042-338-6864

☎042-339-7754